

# 環状第5の1号線地下トンネル築造工事のご案内

環状第5の1号線は豊島区高田三丁目から南池袋二丁目までの区間（延長 1,400m）において、地下道路整備を行っています。

この整備により、池袋副都心周辺、特に池袋駅前の明治通りの交通混雑緩和、地域の活性化、計画道路沿道及び周辺地域の安全性、利便性や防災性の向上などの効果が期待されています。

地下道路整備工事は、東京都第四建設事務所が所管しており、今回、施工する3工区は東京都第四建設事務所が、都電荒川線の線路下となる2工区については、都電荒川線を運行する東京都交通局に委託し、工事を行っています。

東鉄・三共田中 JV では安全を最優先とすると同時に、近隣の生活環境の保全に重点を置き、円滑な工事運営に心掛けさせていただきます。

工事中はなにかとご不便をお掛けしますが、地下道路整備事業に対するご理解とご協力をお願い致します。

## 工事に関するお問合せ先

施工者：東鉄・三共田中建設共同企業体  
池袋 JV 工事所  
TEL 03-6907-2012

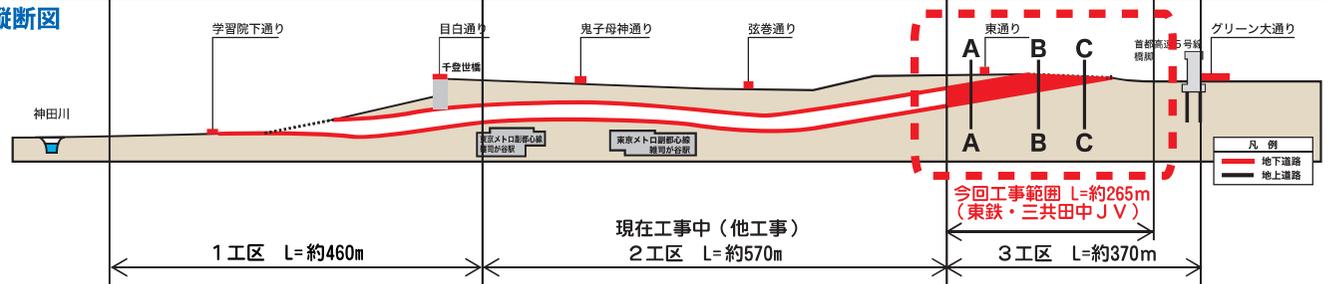
発注者：東京都 第四建設事務所 工事第一課  
TEL 03-5978-1718



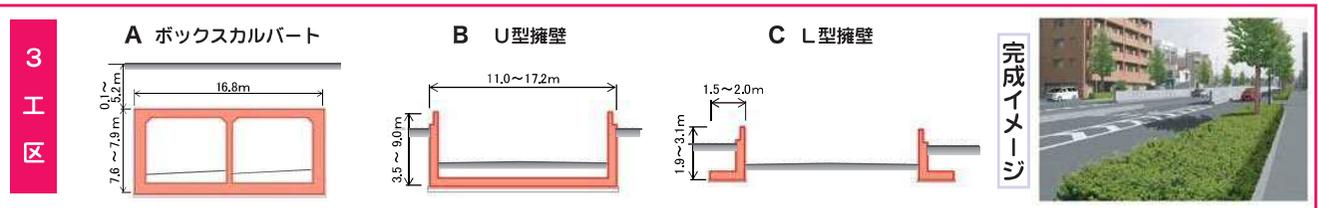
## ●平面図



## ●縦断面図



工事件名：地下トンネル築造工事（27 四一環5の1 雑司ヶ谷） 工事概要：ボックスカルバート 8基（L=105.5m）  
 工事場所：豊島区南池袋三丁目地内から同区南池袋二丁目地内まで U型擁壁 5基（L=100.0m）  
 工期：平成27年6月25日～平成30年10月2日 L型擁壁 4基（L=38.6m）  
 作業時間：昼間工事 8：00～18：00（施工上の都合で一部夜間作業の場合があります。）



## 地下トンネル築造工事(27 四-環5の1 雑司が谷) 工事説明会での主な質問と回答

Q1 エリア1、エリア2の具体的な工事開始時期は、いつ頃になるのか。

A1 エリア1は、現在、清水JVが作業場として使用しているため、来年の夏以降に着手する予定です。エリア2は、準備作業等は本年10月以降、道路規制が伴う土留め工事は本年12月以降を予定しています。



Q2 事業区間全線が開通するのは、いつ頃になるのか。

A2 国の事業認可期間である平成31年度までに、全体の事業完成を目指し、工事を進めていきます。

Q3 横断歩道やUターン路の位置が知りたいので、地上道路の計画図が欲しい。

A3 事業完了後の道路の通行形態は、現在当事務所と警視庁とで協議・調整を進めています。協議・調整が完了した後、皆様にお知らせしていきます。

Q4 将来、自動車交通により坑口周辺の大気・振動・騒音が、どのような数値を予測しているのか。また、交通開通後の調査により、予想値以上の環境となった場合、どのような対策を取るのか。

A4 本事業は環境影響評価条例の対象路線ではないが、アセスの技術基準に基づき環境予測を行いました。その予測結果は、環境基準・規制基準の値を下回る結果となっています。

工事完了後、自動車交通の利用状況を確認しながら、事後調査を行います。環境基準値を上回る値となった場合には、関係機関と協議し対策を講じます。

Q5 地盤変動は、どのように管理していくのか。

A5 トンネル部の掘削に合わせ、定期的に地盤の変動調査を実施します。著しい変動が生じた場合、工事を一時中断し、原因の確認と対策を行います。

Q6 家屋調査の範囲は、どのように決めたのか。

Q6 掘削する深さに応じて、範囲を定めました。掘削深さが10m以上になる箇所は、土留めから30mの範囲まで、掘削深さが10m未満の箇所は、掘削深さの2倍の範囲を調査範囲としました。

Q7 トンネル出入口部の防音対策は行うのか。

A7 環境予測では、トンネル出入口付近の騒音値は、環境基準を下回っているため、現段階では、特に遮音壁などの防音対策を行う予定はありません。

Q8 隣接工区では、夜間工事の騒音がひどく、夜中に眠れない方もいる。夜間工事の予定を教えてください。

A8 現在、夜間施工の工事は、東通りにおける上下水道の撤去工事を予定しています。その他の工事は、昼間施工を予定しています。

Q9 近接工区の仮囲い柵は、白色で非常に高さがあり、圧迫感を感じる。

A9 仮囲い柵の設置に際しては、部分的に透明なパネルを使用するなど、圧迫感を緩和するような工夫を行います。

Q10 説明会や地域の方々との話し合いなどで方針や対応が決まった内容について、どのように広く周知していくのか。

A10 工事案内看板への掲示や広報誌の作成を予定しています。

Q11 トンネル出入口部の完成後、側壁により外回り側と内回り側の地域が分断されるのではないかと懸念しています。

A11 本事業では、快適で広幅員の歩道空間を整備します。お住まいの場所によっては、現在と比べ若干、遠回りとなるケースもありますが、最寄りの横断歩道部までこの歩道空間を利用させていただきたいと考えています。